

◎ 聴解問題スクリプト

Track 22

13番 男子学生と女子学生が、大学の演習クラスについて話しています。この女子学生は、今年、どのクラスに登録希望を出すことにしましたか。

男子学生：そろそろ演習クラスに登録希望の締め切りだけど、もう決めた？

女子学生：それがまだなの。去年は国際経済のクラスだったから、今年は、岡田先生の日本経済か、バク先生の東アジア経済か、迷ってるところ。

男子学生：ああ、そういえばアジアの経済に興味があるって言ってたね。

女子学生：うん、岡田先生は日本の企業研究の第一人者だから、日本経済について詳しく学べそうだし、バク先生のところだと日本だけじゃなくて東アジア全体の話も学べそうでしょ？

男子学生：そうだね。

女子学生：だから、ホントに迷ってて……。両方とりたいぐらいなんだけど……。

男子学生：あ、でもバク先生の演習って、3、4年生が対象じゃなかったっけ？ 確か履修案内に書いてあったよ。

女子学生：え、2年生はだめなの？ ちゃんと見てなかった！

男子学生：じゃ、もう決まりだね。

この女子学生は、今年、どのクラスに登録希望を出すことにしましたか。

1. 国際経済のクラス
2. 日本経済のクラスと東アジア経済のクラス
3. 日本経済のクラス
4. 東アジア経済のクラス

14番 先生が、新聞やテレビによる報道について話しています。この先生は、食品に関する報道の問題点は何だと言っていますか。

新聞やテレビで報道される情報は、常に正しいものだと思われがちですが、私は、特に食品に関する報道は、残念ながら不適切なものが多いと思っています。宇宙の問題に関する報道であれば、専門外の記者が原稿を書くことはないでしょう。明らかに専門的な科学知識が必要だからです。同じように、食品の安全性というのも、専門知識が必要な最先端科学の分野のはずですが、暮らしとかかわりが深い内容のため、「科学」として扱われにくいというのが現状です。ですから、専門知識がある人が携わるべきなのに、そうではない人が内容を正確に理解しないまま原稿を書き、発信してしまうことが多いのです。情報を受け取る私たちは、その報道がどれほど正確なものなのか、常に考える必要があります。

この先生は、食品に関する報道の問題点は何だと言っていますか。

1. 専門知識の乏しい人が情報を発信していることが多いこと
2. 難しい専門用語が多く、わかりにくい報道が多いこと
3. 暮らしに密着した身近な話題が取り上げられないこと
4. 古い情報が多く、最先端の情報が得られないこと

15番 先生が、モグラという動物について話しています。この先生は、モグラの毛はどのように生えていると言っていますか。

モグラは、地中にトンネルを掘って、その中で自由に行き来し、えさを捕まえて生活しています。モグラには皮膚が傷つかないように、とても柔らかい毛が体中にびっしり生えています。一般に、動物の毛は体の動く方向に対して、後ろ向きに斜めに生えていて、それによって頭から尻尾の方向に毛の流れができています。ところが、モグラの毛は、体の外に向かって、まっすぐに生えていて、体の前後に向かう毛の流れがありません。モグラはトンネル内を前だけでなく後ろ向きにも進むので毛が後ろに倒れていたらひっかかってしまうからです。逆に、前に倒れていたら前に進むのが大変でしょう。モグラの毛はそうならないように生えているのです。

この先生は、モグラの毛はどのように生えていると言っていますか。

1. 前に向かって生えている。
2. 後ろに向かって生えている。
3. 皮膚に対して垂直に生えている。
4. 体の前と後ろで、向きが逆に生えている。

16番 男子学生が、先輩の女子学生に、どうすれば人の発表を聞いたあと質問や考えが言えるようになるか尋ねています。この女子学生は、どんなことをしていると言っていますか。

男子学生：あの、先輩、前からお聞きしたかったんですが……。

女子学生：うん、何？

男子学生：ゼミでだれかが発表したあと、質疑応答の時間がありますよね。先輩はそのとき、必ず何かコメントを出されているんですが、どうして発表を聞き終わってすぐ、いい質問とか意見が言えるんですか。僕、発表の内容を理解するだけで精一杯なんです……。

女子学生：うーん……。最初から何か質問しようと思って発表を聞いているからかな。

男子学生：え、それだけですか。

女子学生：うん、もっと具体的に言うとね、どこか私の考えと違うところがないかって意識しながら聞いているの。

男子学生：ああ、じゃ、聞いていると自然に質問が思い浮かぶっていうわけじゃないんですね。

女子学生：そうだよ。ただ聞いているだけだとコメントできないからね。

男子学生：なるほど。

この女子学生は、人の発表を聞いたあと質問や考えを言うために、どんなことをしていると言っていますか。

1. 発表を聞きながら、ポイントを書き出す。
2. 発表を聞いたあと、すぐ思いついたことを言う。
3. 発表の内容を完全に理解する。
4. 発表の中に、自分の意見と同じではないところを探す。

17番 先生が、健康のために運動をすることについて話しています。この先生は、どうすれば運動を続けやすくなると言っていますか。

「健康のために運動をしたほうがいいと思うけれど時間がなくて」と言う人はたくさんいると思います。そんなとき、比較的時間を確保しやすい朝、早起きをして運動するのは、確かにいい方法です。しかし、朝が苦手な人が無理に早起きをして運動しようとしてもすぐに挫折してしまうでしょう。運動は続けることが大事ですから、最初からあまり意気込みすぎないほうがいいのです。やる気は大切ですが、「朝5時に起きて運動する」とか「毎日1時間は必ず運動する」というような明確な目標や綿密な計画を立てると長続きしません。予定通りにできない日があっても他の日に補うことができるよう、自分の生活のペースに合った、ゆとりのある計画を立てて取り組んだほうが、継続しやすいものなのです。

この先生は、どうすれば運動を続けやすくなると言っていますか。

1. 柔軟に変えることができる計画を立てる。
2. 運動量や時間など、綿密な計画を立てる。
3. やる気を高めるために明確な目標を持つ。
4. 時間を確保しやすい朝に運動をする。

18番 先生が、ある地域にすんでいる虫について話しています。この先生は、この地域の虫に、どのような変化があったと話していますか。

ある地域に、もともと同じ種類の虫で、体の色が白っぽいものと黒っぽいものがありました。その後、産業の急激な発展によって、この地域に急速に工場が増えて、その工場から出た黒いススが空気中にたどよい、周辺の空気が汚染されたために、虫が生息していた木の色も黒く変わってしまいました。

すると、この地域の虫のほとんどが黒っぽい色のものになったのです。これは、虫の体の色が黒く変化したのではなく、白い虫の数が激減したためだということが最近になってわかりました。つまり、周りが黒い環境の中では、白い虫のほうが目立つので鳥などの天敵に見つかりやすく、食べられやすくなったということなのです。

この先生は、この地域の虫に、どのような変化があったと話していますか。

1. 白い虫が、大気汚染によって黒く変化した。
2. 黒い虫が、目立たないように白く変化した。
3. 黒い虫が鳥に食べられやすくなり、白い虫の割合が高くなった。
4. 白い虫が鳥に食べられやすくなり、黒い虫の割合が高くなった。

19番 作曲家が、講演会で、司会者の質問に答えています。この作曲家は、どんなことに注意して、作曲をしていると言っていますか。

司会者：作曲をするときに気をつけていらっしゃることはどんなことですか。

作曲家：そうですね。最近では、音楽の寿命が短くて、すぐに飽きられてしまうと言われていきますから、いかに飽きられない音楽を作るか、ということには気を使いますね。長く親しまれるのはどのような音楽か、心理学の実験でも調べられているんですよ。

司会者：どのように調べるのでしょうか。

作曲家：例えば、ある実験では、単純でわかりやすく、ちょっと聞いていいなと思う曲と、リズムやメロディがやや複雑で、第一印象としてはなんだかよくわからないなという曲と、二つの曲を繰り返し聞いてもらったんですが、すぐに飽きられてしまったのは、どちらの音楽だと思えますか？

司会者：ああ。単純だと、すぐに聞き飽きてしまうかもしれませんね。

作曲家：そうなんです。だから、たとえ初めの印象が悪くても、ちょっと難解なほうがいいんです。昔からずっと親しまれ続けている音楽がありますが、私も長く愛される音楽を作りたいものだと思います。

この作曲家は、どんなことに注意して、作曲をしていると言っていますか。

1. 昔から親しまれているメロディを取り入れる。
2. 最初の印象がよくなるように工夫する。
3. ある程度複雑なリズムやメロディを使う。
4. 単純でわかりやすい曲にする。

20番 先生が、フクロウという鳥の生態について話しています。この先生は、フクロウが夜に活動するのは、どんな点で合理的だと言っていますか。

夜間、活動する代表的な鳥として、よくフクロウの名前が挙げられます。フクロウの目は大きく、視力は大変すぐれていて、わずかな月明かりの中でも活動し、えさとなる小動物を捕らえることができます。その目は暗やみに適した進化をしているので、昼間の明るさにはあまり向いていません。

また、ワシという鳥は、フクロウのように小動物をエサとして食べますが、主に昼間に活動しています。もしフクロウが昼も活動したら、ワシと小動物を取り合うことになるでしょう。フクロウとワシが昼、夜に分けて活動するのは、大変合理的な動物界の仕組みと言えるのです。

この先生は、フクロウが夜に活動するのは、どんな点で合理的だと言っていますか。

1. 昼間活動している鳥との争いを避けられる点
2. 夜のほうが静かで獲物の動きがわかりやすい点
3. ほとんど目が見えない昼間に休むことができる点
4. エサとなる小動物が眠っているので捕まえやすい点

Track 30

21番 先生が、歴史の授業で話しています。この先生は、最近の発掘調査によって、何が明らかになったと言っていますか。

エジプトのピラミッド建設について、以前は、王が人々を無理やり連れてきて、奴隷のように働かせたと考えられていました。しかし、最近では、ピラミッドの建設は、川が氾濫して農作業ができない時期に、農民に仕事を与えるための公共事業であったという説が有力になっています。ピラミッドの周りから、パンやビールなど、人々の食事内容が比較的豊かであったことを示す物が発掘されているからです。

似たようなことは、日本の鉱山でもあります。江戸時代の銀の採掘現場では、権力者が人々をひどい条件で働かせていたと考えられてきました。しかし、この考えも、近年新しく遺跡が発見されて変わりました。銀山の周辺の住居跡から、茶碗や箸、くし、髪飾りなどが発掘されたからです。労働者は、決して劣悪な暮らしを強いられていたわけではなかったのです。

この先生は、最近の発掘調査によって、何が明らかになったと言っていますか。

1. 公共工事の技術が進んでいたこと
2. 権力者の支配力が強かったこと
3. 労働者の生活水準が高かったこと
4. 権力者の食生活が豊かだったこと

Track 31

22番 男性が、食堂の食券売り場で話しています。この男性はこれからどうしますか。

男性：すみません。380円の定食をお願いします。ここで食券買うんですね。

女性：いいえ、こちらでは回数券だけ売ってるんです。

男性：回数券って？

女性：定食10食分の料金で、11食分の券が買えるんです。ちょっとお得になってますよ。

男性：回数券がないとだめですか？

女性：いえ、回数券がない場合は、直接カウンターで注文して、食べ物を受け取って、最後にレジでお金を払えばいいんです。

男性：そうなんですか。うーん，じゃあ，回数券にします。

女性：380円の定食用と，300円の定食用がありますが。

男性：じゃあ，380円のほうをお願いします。

この男性はこれからどうしますか。

1. 380円で食券を買います。
2. 3800円で回数券を買います。
3. カウンターで380円払います。
4. カウンターで3800円払います。

Track 32

23番 先生が，企業経営について話しています。この先生は，景気の後退にともなって企業の業績が悪化しているときに，経営者が最も大切にすべきことは，何だと言っていますか。

景気の後退にともなって，業績が悪化してきたとき，改善策として，まず思いつくのはコストの削減でしょう。そのために真っ先に人員の削減を行う経営者がいますが，これは，その対象となった人だけではなく，それ以外の人たちの働く意欲も低下し，結果として組織力の低下につながってしまいますから，できれば避けたいものです。むしろ，不況によって仕事量が減った現場に生まれた時間的な余裕を利用して，社員の教育，研修などに力を入れるべきです。接待費や交通費などと並んで，教育研修費はコスト削減の対象になりやすいものです。しかし，企業の競争力の基盤であり，株主による評価の基準となる人的資本への投資を惜しんでは，不景気を乗り越える力を持った組織は作れないと私は思います。

この先生は，景気の後退にともなって企業の業績が悪化しているときに，経営者が最も大切にすべきことは，何だと言っていますか。

1. 仕事量を減らすこと
2. 人材の育成に力を注ぐこと
3. 他社との競争を避けること
4. 株主の意見を取り入れること

Track 33

24番 男子学生と女子学生が，大学祭で行う演劇部の出し物について話しています。この男子学生は，出し物は何がいいと言っていますか。

男子学生：ねえ，大学祭のうちの演劇部の出し物だけどさ，今度のミーティングで決めるんだよね。

女子学生：うん。去年はミュージカルだったから、今年は音楽なしのお芝居がいいな。
男子学生：僕、個人的には、現代社会の問題を鋭くつくような劇を創作したいんだけど……。
女子学生：え、創作？ それって、脚本から書くってこと？
男子学生：うん。実は、最近ちょっと書き始めたんだ。
女子学生：すごいね。でもそれ、大学祭までに完成できる？ 練習もしなくちゃいけないし。もうできてる脚本を使って、古典劇をやればいいんじゃないかな。
男子学生：古典劇？ シェイクスピアとか？
女子学生：そう。正統派でいくのがいいと思う。
男子学生：いや、現代もののほうがいいよ。それもオリジナルの。
女子学生：そうかなあ。じゃ、ミーティングまでに一応仕上げて持ってきてよ。
男子学生：うん、わかった。

この男子学生は、出し物は何がいいと言っていますか。

1. ミュージカルのような音楽劇
2. シェイクスピアなどの古典劇
3. すでに脚本がある現代劇
4. 自分で作った新しい劇

Track 34

25番 先生が、ある商店街について話しています。この先生は、この商店街が活性化に失敗した理由は、何だと言っていますか。

ある自治体が、商店街の復興を目指すために、公共事業としてお金をつぎこんで、商店街の街並みや店構えを昔懐かしい雰囲気に変え、積極的に観光客を呼び込みました。その結果、確かに、観光客を対象としたお土産を扱う店や食べ歩きができる商品を扱う店は売り上げが伸びました。しかし一方で、地元住民が必要とする日常生活用品を扱う店は売り上げが伸びないまま、次々に閉店していってしまいました。結局、商店街の復興という目標は達成されなかったのです。

観光が盛んになることと商店街が活性化することを混同してはいけません。地元住民の生活を支え、地元住民に毎日来てもらえること、そしてそのための顧客サービスを怠らないこと、こうした意識が地域の商店街の活性化には不可欠なのです。

この先生は、この商店街が活性化に失敗した理由は、何だと言っていますか。

1. 商店街の改装にかかるお金が不十分だったから
2. 商店街が地域住民の生活のことを考えなかったから
3. 商店街を訪れる観光客が減ったから
4. 商店街の建物が古めかしくなったから

26番 照明の専門家が話しています。この専門家は、明るさや暗さについてどう考えていますか。

日本では、明るいことが文明の発展だと考えられがちで、明るいことを単純にいいことだと思っている人が、世間一般にも、照明の専門家にも多いようです。実は私もその一人だったのですが、イギリスに留学して、駅や道、部屋などの暗さ、また冬の朝の暗さなどさまざまな暗さを経験して考えが変わりました。明るさを求めるだけでいいのか、暗さの価値を認め、暗さを生活に取り入れることで快適さが増すということもあるのではないかと考えるようになったのです。例えば、自宅でくつろぐときは少し暗めのほうが落ち着きますね。あえて照明を暗く抑えることで、人々がゆったり行動する空間を作る。それも、照明の極意ではないかと思うのです。

この専門家は、明るさや暗さについてどう考えていますか。

1. 明るさは文明の発展の象徴である。
2. 暗さは人の行動を鈍くし、気分を落ち込ませてしまう。
3. 明るさを変えても、生活の快適さは変わらない。
4. 明るさだけを求めても、快適な空間が作れるとは限らない。

27番 先生が、観光について話しています。この先生が考える観光とは、例えばどのようなものと言えますか。

観光とは、「普段の生活の場を離れ、訪問先の土地で有名なものを少しずつ楽しむことだ」と私は考えています。観光という行為には、例えば、歴史的な建物を見て、芸能の一幕だけを見て、地元の名物を食べ、みやげ物を買うといった、多くの活動が詰め込まれています。一つのことに時間をかけて楽しむのではなく、短い時間で、さまざまなことを少しずつ楽しむというのが本質的な特徴です。ですから、何かの研究や仕事の調査のための旅行、宗教的な巡礼や参拝のための旅行などは、観光とは呼べないと思います。そこに、多少の観光的な要素があったとしても、主要な目的が、観光とは違っているからです。

この先生が考える観光とは、例えばどのようなものと言えますか。

1. 宿で地元料理を食べ、その近辺の名所を見学する。
2. 社員旅行で旅館に泊まり、親睦を深める。
3. 京都の寺に長期滞在し、仏教について学ぶ。
4. 田舎の農業体験に1週間参加する。